



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 H28.05.18

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立西和佐小学校4年生**の皆さんが見学に来られました。

日差しが戻った少し風の冷たい午後。元気な笑顔いっぱいの子供達から真剣なまなざしでたくさんの質問をいただき、当事務所の流水調整課2名が対応させていただきました。

前日から続いた雨のため川は濁っていましたが、魚道観察室ではアユやボウなどの魚が見られ、子供達は大喜びしていました。

また、紀の川大堰の必要性や役割についても学び、よく理解できた、と皆さんに喜んでいただけました。

団体見学概要

日 時： 平成28年5月17日(火)
13:00 ~ 14:00

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：59名(生徒56名、先生3名)

団体名： 和歌山市立西和佐小学校4年生

1.館内見学及び紀の川大堰概要説明

まずは、3階展望デッキへ。

紀の川大堰を目の前に見ながら、職員が関連施設の説明や大堰の仕組み、役割などの説明をする様子。





2階操作室をガラス越しに見学。

わあ、広いなあ～



1階 壁面の大型パネルで
紀の川の利水について学ぶ。



いろいろな昆虫の標本を
展示しています。男の子
は興味津々！

どれを読もうかなあ



1階展示室奥には、たくさん
の川に関係する本がありま
す。

2. 館外の魚道見学

人工河川式魚道と階段式魚道を上から見てみいる様子

魚道観察室へ出発～



川の中が見えているよ。魚が
見え隠れしている様子を一生
懸命に観察しています。



質問

Q1. (魚道にて) 一番流れが速い魚道の名前をもう一度教えて下さい。

A1. デニール付きバーチカルスロット式魚道です。

Q2. (魚道にて) どうしてそんなに長い名前がついたの？

A2. 川の上からは見えませんが、「デニールボックス」という筒のような形の物を水底に沈めています。「バーチカル」は垂直という意味で、「スロット」は溝という意味なので、どんな造りの魚道かすぐわかるように、こんな名前になっているのです。

